

## IFMSA Action Summer Camp 2018 で特別講演しました (2018/8/13)

テーマ：地域、そして世界で活躍できる医学生リーダーの育成  
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京、日本）

2018年8月13日（月）に災害医学研究部門の江川新一教授が国際医学生連盟（IFMSA：International Federation of Medical Students' Associations）が主催する Action Summer Camp 2018 において特別講演しました。IFMSA は「すべての医学生がグローバルヘルスのために団結し、将来の医療において地域、そして世界で活躍できるリーダーを育成する」ことを Vision として活動する非営利・非政治の国際 NGO です。第2次世界大戦後の1951年にヨーロッパで設立され、本部はフランスの世界医師会内にあり、WHO（世界保健機関）、WMA（世界医師会）を始め、様々な国際機関、UNESCO や UNICEF などの国連機関と公式な関係を結んでいる、唯一の医学生団体です。

Action Summer Camp 2018 は日本支部である IFMSA-Japan が東京で開催し、中国、インドネシア、フィリピン、マレーシア、バングラデシュ、パキスタンなどから医学部生、看護学部生、薬学部生など約100名が参加し、8月11日（土）から17日（金）までの7日間にわたって、さまざまなテーマについて学び、交流する機会となっています。

江川新一教授は「Disaster Medicine and Public Health Preparedness」と題して、阪神淡路大震災を契機に設立され、東日本大震災によって実証・改善されてきたわが国の災害医療体制と、地域の避難所運営に関するシミュレーション教育としての避難所運営ゲーム（災害医療国際協力学が静岡県 の 許諾を得て英訳したもの）を実際に用いた講義と実習を行いました。

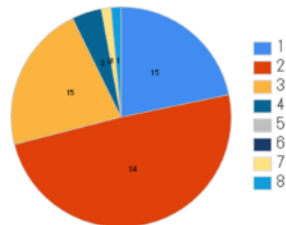
災害医療は救急医療や外傷医療だけではなく、災害の3要素である、ハザード、脆弱性、対応能力の総体として被害（リスク）が決定されること、早期警報や対応体制を含む災害前の備え、発災から数日、数週間、数か月、数年といった時間ごとの保健医療のニーズと対応、つぎの災害に対する備えについてアンサーパッドを用いて、双方向の講義を行いました。東日本大震災や、熊本地震、西日本豪雨などわが国がこれまでに経験してきた災害の事例をもとに災害ごとに健康の被害は大きく異なること、放射線災害やバイオハザード災害など複合的かつグローバルな災害が増えていることなどから、災害医療の基本を理解しながら、柔軟に対応できる能力を身に着けることも強調しました。

避難所運営ゲーム(HUG®)は会場の都合で、1テーブルのみで行われました。各国から1名の代表者が出て、指定避難所の小学校に集まった避難者が自分たちで避難所を運営する想定で、簡単な説明ののちに、実際のゲームが開始されました。体育館にどのような通路を設定するか、高齢者や障がい者、妊婦や幼児、外国人労働者、旅行者などさまざまな事情を抱えた被災者が多数押し寄せたときに、何をどのように考え、居住してもらう場所を決定していくか、ペットを連れている避難者にどのように対応するか、さまざまな要望、災害対応本部からの連絡にどのように対応するかなどの課題に10名ほどの代表グループに取り組んでももらいました。

最初は戸惑いつつも、つぎつぎとやってくる家族や情報に対して、議論を進めながら一定の方針を打ち出していくことができました。HUG 終了後には、代表チームのメンバーそれぞれから、感想や難しかったこと、工夫したことが発表されました。とりわけ、学校全体をトリアージ区分と同様に、緑、黄色、赤のエリアに分けて、特別な支援を必要とする被災者を赤や黄色のエリアに居住してもらう考え方は斬新なものでした。18歳から24歳ぐらいまで、医学部生が9割をしめ、かつ女性の割合が75%近い集団において、さまざまな意見が出て、活発な議論となりました。授業評価は85%が「大変面白かった」、「面白かった」と回答し、「難しかった」は14%でした。国際的な視野にたつて医学医療と社会の接点を考える貴重な機会に東北大学災害科学国際研究所が貢献できたことは大きな喜びです。

### Select your age

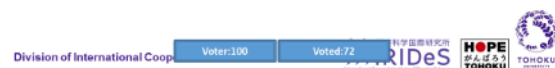
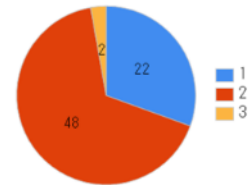
- 1.Age 18-19
- 2.Age 20-21
- 3.Age 22-23
- 4.Age 24-26
- 5.Age 27-28
- 6.Age 29-30
- 7.Over 30 or Under 18
- 8.Not disclosing



参加者の年齢構成

### Select your gender

1. Male
2. Female
3. Not disclosing



参加者の性別



参加者との集合写真

文責：江川新一（災害医学研究部門）